

公表：令和 5年 5月

事業所名 きっずサポートなにわ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○			・時間帯によっては、利用人数が多くスペースが限られていることもあるため、引き続き活動プログラムを踏まえながら、スペースの調整を行っていく。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			・利用者1人に対して、スタッフ1人の体制を取っている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○				
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		・今のところ実施する予定はない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・外部コンサルタントによるコンサルテーションを月3回実施している。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・フォーマル(発達検査、知検査、心理検査、学習支援に関する検査など)、インフォーマル(行動観察、聞き取りなど)なアセスメントを通して、計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		・1対1の個別活動を中心としているが、集団活動を行う際は、必ずチームでプログラムの立案を行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○				

適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか			○	・マンツーマン対応による療育のため、平日、休日に関係のないプログラムとなっている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか			○	・1対1の個別活動を中心としているため、集団活動の時間はほとんどない。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか			○	・1対1の個別活動を中心としているが、集団活動を行う際は、必ず役割分担などの確認を行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			○	・1対1の個別活動を中心としているが、集団活動を行う際は、必ず行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・毎回療育計画を立てて、記録を残している。	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○				
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか			○		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	—	—	—		・医療的ケアを必要とする利用者がいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○				
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○			・連携は行っているが、研修を受ける機会は少ない。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○				・柏原市自立支援協議会子ども部会のメンバーの一員として出席している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○				・年に1回、ペアレントトレーニングの研修を実施している。 ・療育時に、保護者とやり取りする中で、子どもとの関わりについて適宜助言を行っている。
保護	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				

者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・毎回の療育時や電話、メール、LINEなどで相談に応じている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			・年に1回、保護者交流会を実施している。	

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				・年に4回、法人全体の広報誌を発行している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○				
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○				・地域住民に向けたセミナーや研修を実施している。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか				○	・適宜作成し、周知を行う。 ・スタッフ向けに避難訓練を実施する。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				・スタッフ間で、連絡網を用いて伝達訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	—	—	—		・身体拘束等の適正化のための指針を作成し、それに則った対応を行っている。 ・今のところ身体拘束する利用者はいない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	—	—	—		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか				○	・事故防止のために、スタッフ間での情報共有や環境整備は適宜行っている。

○この「放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った評価です。